

## 令和6年度第2回中部地区教科用図書採択協議会 会議録

○期 日 : 令和6年7月29日(月) 8:30~16:30

○会 場 : 倉吉市役所北庁舎3階 A会議室

○出席者

### 【採択協議会委員】

湯梨浜町	山田 直樹	教育長	倉吉市小学校保護者代表	
三朝町	西田 寛司	教育長	東伯郡中学校保護者代表	
北栄町	笠見 隆志	教育長	倉吉市中学校長会	山根 賢 校長
琴浦町	河原 裕司	教育長	東伯郡中学校長会	岡本 勇人 校長
倉吉市	中田 寛	教育長		

### (事務局)

鳥取県中部地区教科用図書採択協議会規約第8条」により本協議会が成立していることを確認させていただく。

### 1 開会挨拶(協議会長)

・本日は、ご多用のところお集まりいただき感謝申し上げます。令和7年度から使用する中学校教科書について選定することとなる。中部の子どもたちにとってどのような教科書がいいのか、しっかり協議していただきたい。

### 2 連絡・事務処理等について(事務局)

- ・本年度は、来年度以降使用する中学校教科用図書の採択年度となっている。
- ・協議会後の事務処理についての説明

### 3. 選定協議(司会:協議会長)

・この後、各教科毎に、5~10分程度、調査員代表より報告をいただく。見本本を見ていただき、説明の後、質疑応答の時間をとる。その後、調査委員に退席いただき、協議会委員メンバーで決定していく。

### 【国 語】

《調査報告》

#### 1 東京書籍

- ・「言葉の力」では、ポイントを図示しながら、身につける力が明確に示されている。
- ・これまで巻末にあった「学びを支えることばの力」が、単元内の関連する教材の前後に配置され効果的に活用できるようになっている。
- ・単元に配置された内容の関連性に無理がなく、分量も適切である。
- ・「読むこと」で身につけた言葉の力を「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材で生かすというインプットからアウトプットへという流れが自然にできるような教材の配置構成になっている点が、現行の教科書同様に特徴である。

- ・新設「未来への扉」では、現代的な課題（情報社会、安全・防災、科学と探求、学校・社会、自己と他者、多様性、伝統と文化、地球環境、平和・国際理解）に対し、複数の文章や既知の学びを活用して、自分の考えをまとめる内容となっている。

## 2 三省堂

- ・「語彙を豊かに」が各教材に配置され、辞書の三省堂らしく教材の言葉に関連する語彙を学べたり、表現に活かせる言葉を学べたりして活用できる。
- ・単元の数は9つと少し多いが、単元内の教材は少なめである。
- ・一つの教材で多くのことを学べる構成になっている。
- ・「短歌十首」のように、文章ページには文字しかなく、基本的にすっきりした印象を受ける。空欄に書きこみをしたり集中して文章を読みたい生徒、あるいは集中力が続きにくいような生徒には、イラストや注釈が多くない方がむしろ注意散漫にならず、読みやすい。
- ・6章「情報に関連づける」では最初に漫画→関連文章→創作などの言語活動という流れで学習が深まるように、充実した課題が掲載されている。
- ・メディアリテラシーを身につける、情報の扱い方に関する教材が3年間を通して配置されている。
- ・「防災」や「百年後の水問題」や「ロコミサイト」、「電子マネー」など、今日的なテーマも掲載されている。

## 3 光村図書

- ・語彙ブックや季節の言葉、言の葉ポケットなど、語彙を増やす工夫がされている。巻末の「語彙ブック」は、書いたり話したりするときに表現のヒントになり、言葉の力の向上に役立つ。
- ・単元に配置された内容の関連性についておおむね良いが、古典教材が分けて配置されている。
- ・文字が小さく余白が少ない。
- ・各学年に「情報×SDGs」のコーナーがある。
- ・正解が1つに決まらない課題と向き合うために、複数の意見を読んで考える単元がある。

## 4 教育出版

- ・「タオル（2年P38）」の「振り返り」のように、教材毎に自己評価の視点が問いの形で示されており、振り返りがしやすい。
- ・QRコードはやや少なめである。
- ・単元構成に無理はなく、分量も適切だが、単元相互の関連性は弱い。特に、インプットからアウトプットへという流れは関連性が弱い。
- ・本文の文字は大きめで、写真も余白も多い。
- ・「敦盛の最後」（2年P127）のように、古文の歴史的仮名遣い、現代語訳などが色を変えて記載され、イラストや写真なども豊富に紹介しており、わかりやすい。
- ・巻末に「ふるさとを巡る（文学にゆかりのある風景）」があり、ふるさとキャリア教育に活用できる。

## 《質疑応答》

○委員 ●調査委員

○教材文の魅力について感じることはあるか。

●昔から大事にされてきた教材は継続してあるが、各社とも現代の若い作家・作品を扱われていて、生徒にとっては魅力ある作品が増えた。特に導入部分について。説明教材に関しても身近なテーマ、自然・動植物を取り扱っており読みやすい作品が増えたと感じる。

○イラストや注釈のあるなしはどちらがより適切と思うか。

●それぞれメリットデメリットはある。最近の教科書は盛りだくさんの資料、カラーが多用されており資料集のようだが、文章に接するという点で考えればイラストや注釈が少ないほうが見やすく新鮮な印象は受けた。

○QRコードを活用することは頻繁にあるか。

●実際に授業ではよく使う。漢字ドリル・テストが入っている、著者へのインタビューが入っているQRコード等あり、授業での活用の幅は広い。

○最初の単元は各社学び方を示しているが、実際の授業では扱われる部分か。

●学校でも学び方を活用して学習を進めるようにしている。

○光村の教科書は情報が多すぎて目がうろろうろする印象を受けたが、三省堂のスッキリした感じと、実際に授業をする時どちらがいいのか。

●それぞれメリットデメリットがあるが、パッと見たときに見開き2ページに情報が満載だと生徒の集中力が続きにくいということはあるかもしれない。

○東京書籍は他教科との関連が可能とあるが、これは必要各社ともバランスよく配置されている。

●今の学習では教科を横断して学習を深めていくということは大切なことで、大事な視点ではあると感じている。

## 《協 議》

- ・付録の部分が多いところは、時間数が必要となってくるのでは。
- ・若い先生が増えている中で教科書が変わることは難しいのでは。
- ・逆に今がチャンスで教科書を変えるのも手だと考えている。
- ・何年か前に光村図書から東京書籍に変えている。
- ・光村図書は文量的にかなりある。むいていない生徒にはきつい。
- ・そういう意味では東京書籍はバランスがよい。
- ・東京書籍の説明の時、インプットからアウトプットへ系統的な学びができていて、とあった。今はアウトプットが大切で東京書籍はやりやすい。教育出版は関連性が弱い。
- ・東京書籍は読んだ後にどんな発展性をさせていくのかという仕組みがある。

## 《結 果》

東京書籍

## 【書 写】

### 《調査報告》

#### 1 東京書籍

- ・書写が初めてでも分かりやすいような「とん、すう、びたっ」などの言葉で筆の運びが表現されている。
- ・「書写テスト」があり、学習の定着度が確認できるようになっている。
- ・小学校で学んだことの振り返りがある。
- ・筆の運びを意識させるために点線で筆脈が書かれている。
- ・毛筆教材には動画解説がついており、自分で確認できるようになっている。
- ・基本単元は、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」で構成されている。
- ・各学年に「生活に広げよう」を設けている。
- ・キャラクターを使って要点を伝えている。
- ・写真や絵を使いながら視覚的な提示がしてある。
- ・色覚特性に適応するようにデザインされている。
- ・QRコードあり、デジタルコンテンツへアクセスできるようになっている。
- ・「生活に広げよう」「文字といっしょに」では国語だけでなく、他教科とつながるような教材が準備されている。
- ・巻末に高校書道の紹介がされている。

#### 2 三省堂

- ・学習の初めに筆の運び方や、鉛筆の持ち方など基本的なことが書いてある。
- ・毛筆教材には解説動画がついている。
- ・毛筆と硬筆が交互にあり、毛筆で学習したことを硬筆にいかすことができる。
- ・1年生は楷書から入り、行書。2年生は行書。3年生は文字文化の豊かさという構成。
- ・1年「文字の変遷」、3年「身のまわりの文字」では、文字文化に触れることで、手書き文字の魅力や意義を考えることができるようになっている。
- ・写真や絵を使って視覚的に提示している。
- ・筆脈が点線で示してあり、筆や鉛筆の動きがわかりやすくなっている。
- ・カラーユニバーサルデザインに配慮して作られている。
- ・ルビがふつである。
- ・二次元コード一覧表があり、一目でどこに解説動画や、補充教材があるかわかりやすくなっている。
- ・「書写の広場」として高校の内容がある。

#### 3 光村図書

- ・用具の準備や片付け方が写真で示されている。
- ・毛筆教材に動画解説がついており自分で筆使いを確認できる。また、他の文字の動画もあり学習内容の確認ができる。
- ・左手で書く人の両方の二次元コードがあり自分で選択して確認することができる。
- ・モデルに外国の生徒を起用している。

- ・タブレットを使うときの姿勢やタブレットの活用例を写真や二次元コードで確認できる。
- ・QRコードにふるさとに関わる動画、まつりの書初めを動画であげている。

#### 4 教育出版

- ・版のサイズが他社より大きい
- ・「学びリンク」（二次元コード）で毛筆・硬筆教材や補充教材の運筆を動画で確認できる。学習内容の記録やふり返りができるワークシートがある。
- ・行書の硬筆練習に出てくる筆順の難しい漢字について漢字別に筆順が示されている。
- ・学習内容や活動などのポイントをキャラクターの言葉としてふき出しで示している。
- ・部首とつくりの位置関係を色分けしている。
- ・作品例や資料に出てくる語句の読み方が示されている。
- ・資料や見本にSDGsの目標に関わる内容や写真を取り入れている。
- ・筆や紙などの主な生産地や各地の城や城址の石柱の様々な写真が掲載されている。

#### 《質疑応答》

○委員 ●調査委員

- デジタルコンテンツは単なる資料ではなく先生の代わりになることができる。タブレットを見てごらんということが出来る。そういった変化はあるか。
- 現行の教科書では、全体へ示す時間は短縮されている。新しいものは音声としてタブレットを開いていると一人で書くことができそう。各社あるが会社によっては字幕設定ができるものがある。
- 左手で書く人はどれくらいいるか。
- 鉛筆が左でも毛筆は右の生徒もある。今担当しているクラスでは2人、多いと3人。
- 新しいものであれば家でも宿題としてできるか。
- できると思う。
- 動画を見ていると先生がいなくなる、くらいの印象をうけた。どこが優れているとかあるか。
- 動画だけでは言えない。実際に筆の大きさ、半紙の大きさは授業で目で見ることが必要がある。だが動画だけで言えば東京書籍などの一覧は優れていると思うが、全体で考える必要がある。
- カラーユニバーサルデザインについては。
- どこが足りないなどは感じない。
- 扱う字はどの教科書も同じか。
- 似たものもある。基本的な筆使いを覚える時に文字の組み合わせは決まってくるが、補充教材になると各社違いが出てくる。
- 教育出版のみ筆順が書いてある。これはあった方がいいものか。本の大きさは。
- 特徴の一つだとは思いますが。本の大きさは半紙に合わせてあるため。
- 硬筆からスタートする教科書、毛筆からスタートする教科書あるが、進め方としてどうか。
- 1年生のスタート、硬筆を小学校から習ってきて、硬筆の復習から行って毛筆へ入る。どの教科書もページはあり、前回よりも差がなくなっていると感じる。

#### 《協 議》

- ・小学校は昨年度光村図書に変更した。

- ・光村図書の教科書は右から左に指導が一直線に並んでいることが特徴的。一人学びにもスッキリと向かいやすい印象。
- ・前回もそれが特徴で選んだ。
- ・三省堂くらいの厚さでよいと思った。現行は厚みがあるため教科書を学校に置いており、宿題にはならない。
- ・QRコードなど4社に差がなくなってきたが、光村図書は独自性をだそうとしていると感じた。

《結 果》

光村図書

## 【地 図】

《調査報告》

### 1 東京書籍

- ・巻頭で地図帳の活用方法が示されており、地図の活用技能習得に適している。
- ・単元の探求課題に沿って学習する際に活用できる資料が掲載されている。
- ・イ地図帳活用コーナーBees eye では「1枚の図を見て取り組む」「2枚以上の図を見て取り組む」「自ら調べたり考えたりする」の3つの問いが設定されており、発展的な学習につなげる工夫がある。
- ・地図帳内で関連する図版を「ジャンプ」コーナーで示し、併せて見ることで、学びを深める工夫がされている。
- ・世界の生活や文化を示す写真や、さまざまな言語の会話例など、興味・関心を高める資料が掲載されている。
- ・他分野との関連に配慮した地図や資料が掲載されており、歴史学習や公民での学習にも活用できる。
- ・特産物などのイラストが地図中に多く記載されており、文字だけでなく視覚的にわかりやすい。
- ・QRコンテンツ、デジタル地球儀「MY GLOVE」では、地球儀を回し詳しく見たい場所を拡大することや、白地図で作業をすることができる。
- ・SDGs について紹介し、関連するページにはアイコンが表示されている。
- ・環境問題や災害・防災などの課題に対する資料が多い。

### 2 帝国書院

- ・地図帳の基本的な見方・使い方について巻頭に解説ページが設けられている。
- ・世界の六州には、自然環境や生活、文化などのイラストを配した鳥観図があり、地域的特色を視覚的にとらえる工夫がされている。
- ・「地図で発見」で社会的な見方・考え方に着目した問いが設定されている。
- ・世界地図に、世界の国々と日本の大きさを比較することや、緯度や経度による位置関係の比較ができるよう、随所に同緯度・同縮尺の日本地図が掲載されている。
- ・他分野との関連に配慮した地図や資料が掲載されており、歴史や公民での学習や修学旅行等で活用できる。
- ・写真資料が多く掲載されており、視覚的な支援を得やすい。

- ・伝統・文化などに関してわかりやすい工夫として、絵記号が多く用いられている。
- ・QRコードからNHK for School や衛星画像、日本の基礎的テーマ図などのコンテンツへつながる。
- ・環境問題や災害・防災などの課題に対する資料だけでなく、地域ごとの防災資料が掲載されている。

## 【社 会（地理的分野）】

### 《調査報告》

#### 1 東京書籍

- ・単元活動の最後に「確かめよう」で地図などを使って学習内容を整理し基礎基本の定着を図ることができる。
- ・「チェック&トライ」で1 単位時間の学習内容をまとめることで思考力・判断力・表現力の育成につなげている。
- ・「みんなでチャレンジ」コーナーがあり、対話的な活動を実践できる工夫がされている。
- ・「ベン図」「ウェビング」などの思考ツールが掲載されており、学習内容について考察し、思考を深める工夫がされている。
- ・導入ではコラム「聞かせて！中学生」で地域による違いや生活の工夫などへの関心を高める工夫がされている。
- ・探究的に学習に取り組めるよう「世界の窓」「〇〇の視点で見てみよう」が設けられている。
- ・小学校で学習した内容を振り返るページが設けられており、小中の接続が意識されている。
- ・他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマークが付されている。
- ・ムスリムの暮らしを丁寧に上げた「もっと知りたい」でイスラム地域による多様性などに触れている。
- ・紙面に付した二次元コードを読み取り、学習内容を深める動画やつまずきを補うシミュレーション、活動のためのワークシートなどのコンテンツを活用できる。

#### 2 教育出版

- ・「地理の技」のコーナーでは、個人やグループ活動での活動を通じて、地理の学習に身に付けたい技能や表現力が養える。
- ・「学習のまとめと表現」が設けられており、学習内容が身についているか確認でき、学習の振り返りを3STEP に沿って整理し深めることができる。
- ・資料を読み取って考察する「THINK！」のコーナーが設けられ、思考・判断・表現を育成することにつなげている。
- ・「確認」の学びをもとに「表現」のコーナーで学習したことを自分の言葉で表現し、深い学びへつなげる工夫がされている。
- ・QRコードから動画や学習コンテンツにアクセスでき、授業外での復習や自主学習など個別最適な学びを支援できる。
- ・ウクライナ問題、新型コロナなど世界的な時事的な課題も取り上げられている。

### 3 帝国書院

- ・「導入」「学習課題」「本文」「確認しよう・説明しよう」という展開で統一、構造化されており、基礎的・基本的な知識や技能が理解しやすい工夫がされている。
- ・緯度・経度や時差など、図版だけでは理解しづらい概念を説明する際は、QRコンテンツにアニメーションを収録して、理解を促すように配慮されている。
- ・本文側注、QRコンテンツの中に用語解説が用意されている。
- ・「アクティブ地理自然災害から命を守ろう」では、ハザードマップの使い方や災害時の避難方法などを実践的に学習できる。

### 4 日本文教出版

- ・見方・考え方のコーナーを設け、学習課題の解決に向けての手掛かりとなる地理的な見方・考え方の例を示している。
- ・何を学ぶのかを「学習課題」で示し、「確認コーナー」「表現コーナー」では基礎的な知識・技能の定着をねらいとした学習活動や問いが提示されている。
- ・「まとめと振り返り」では、習得した知識を活用して、生徒が単元を貫く問いについて自分の考えをまとめる際に、様々なまとめ方や思考ツールが提示されている。
- ・「学習のはじめに」「節の問いを立てよう」で単元を貫く問いを立て、学習の見通しを持つことができる。また、トライやキャラクターの吹き出しで自ら問いを立てる活動を支援し、取り組みやすい工夫がされている。
- ・「学習のはじめに」「連携コーナー」において小学校で学習した内容を再確認することができる。
- ・「地理+α」のコーナーでは、性的少数者や多文化共生社会、アイヌの人々の文化などが紹介されており、多文化共生の重要性を再認識できる。
- ・紙面に二次元コードが掲載され、動画や資料、ワークシート等のデジタルコンテンツにアクセスできる。(タブレットマーク配置) 小テスト、イントロダクションムービー、ポートフォリオが設定されている。
- ・随所に「持続可能な地域をめざして」のコーナーが配置されており、世界や日本の今日的な課題について考えることができる。

## 【社 会（歴史的分野）】

### 《調査報告》

内容の扱いと学習の方法を中心に同じような項目を並べて比較する形で説明させていただく。

#### 1 東京書籍

- ・単元の導入で、活動を通して、生徒が主体的に学べるよう、小集団の協同的な活動のコーナー「みんなでチャレンジ」が設けられている。
- ・深い学びにつなげるため、個人活動とグループ活動が明示されている。

#### 2 教育出版

- ・各章はじめの「時代の変化に注目！」では、資料の読み取りを通して、時代を大まかに比較し、変化の理由を考えさせることで、「見方・考え方」を働かせることができるよう工夫されている。



- ・各章導入ページ「学習のはじめに」では、資料の読み解き活動を通して、興味・関心を高めながら、「章の問い」や章の学習への見通しにつながるよう工夫されている。

### 3 帝国書院

- ・正解のない課題解決学習を通して、意見交換をする対話的な学習が設定されている。

### 4 山川出版社

- ・難しい用語には「用語解説」を設けて生徒の理解を助ける工夫がしてある。
- ・各所に設けた発問を自ら考え、判断する力を身につける工夫がしてある。

### 5 日本文教出版

- ・第2編以降の通史学習では、導入ページ、本文ページ、まとめ・ふり返りページのそれぞれで働かせる主な「歴史的な見方・考え方」の例を示している。
- ・単元を振り返る活動が設定されており、自らの学びを自己調整したり、変容を見取ったりすることができる。

### 6 自由社

- ・各章のまとめ「時代の特徴を考えるページ」では、「歴史用語ミニ辞典の作成」「時代の流れを整理する問題」「時代比較の問題」「『ひとこと』作文」などの課題解決に取り組むことで、学びを構造化する力を養うことができるよう工夫されている。

### 7 育鵬社

- ・時代ごとの長さや位置関係がわかるように、見開きページの左下に「歴史モノサシ」を提示し、その単元で扱うおおまかな時期を捉えられるよう工夫されている。
- ・各章はじめの「歴史絵巻」では、その時代の大まかな流れを確かめるとともに、小学校での学習内容と関連付けながら、意欲的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。

### 8 学び舎

- ・教科書の大きさはA4版で、図、写真、グラフなどの資料が大きく掲載されている。
- ・本文中の文字に太字がなく、生徒が主体的に大切な語句を見つけられるよう工夫されている。

### 9 令和書籍

- ・各章の各項ごとに「課題」が設定されており、見通しを持って学習に取り組むことができるよう工夫されている。

## 【社 会（公民的分野）】

### 《調査報告》

項目で横並びに特徴を述べさせていただく。

- 1 問の構造化(めあてをもって見通しのある学習。まとめてふりかえる)について各社どれくらい対応できているか。

- ・帝国・教育出版・日文・東書は構造化できている。自由社・育鵬社は不十分。

## 2 まとめ・ふりかえりについて

- ・自由社以外は項目あり。自由社は教科書の中に答えが書いてある。

## 3 大単元の間に関する意義付けについて

- ・東京書籍、教育出版、日文はある程度丁寧にあった。
- ・帝国書院は意義付けが少なく捉えにくい。
- ・自由社・育鵬社は基本的になし。

## 4 大単元の章のまとめについて（基本的な内容・重要語句の確認後、章をまとめる流れ）

- ・教育出版・帝国書院はある程度丁寧なまとめが章末にある。
- ・日文・東書はおおまかなまとめ方でもう少し親切さがほしい。
- ・自由社・育鵬社ははっきりしない。

## 5 内容の構成について（多面的な捉え方ができているか）

- ・平和主義の扱い（自衛隊・集団的自衛権・自衛隊）を中心にみた。
- ・帝国、教出、日文は政府の見解、批判論などバランスよく列記されている。
- ・東書は少し弱い感じがした。
- ・育鵬社は偏りがある。2つの意見がある際にはどちらかに寄っている印象。
- ・自由社は自社の答えを中心に述べている印象。
- ・育鵬社は国民・国家の捉え方が一面的。
- ・自由社は家族や男女の捉え方が旧民法的な捉え方が強く、個人より家族という印象。内容は中国や北朝鮮に関する記述が非常に多い。安全保障や国防、自衛隊に関する資料、戦闘機等の資料多い。

## 6 大単元・小単元のバランス

- ・帝国、教出、育鵬社は小単元の数少なく、特設のページが多い印象。
- ・自由社は大単元のバランス、憲法に関するページが多く、経済は少なくバランスに偏り。

## 7 他分野への関連が教科書の中にあるか（社会科他分野、中学校他教科）

- ・帝国、教育出版、日文、東書はある。帝国、教育出版は小中学校の社会科他分野、中学校他教科に関連する分野記載あり。日文は他分野についての関連。東書は小学校で学習したことの関連が書いてある。
- ・育鵬社は他分野についての記述少なく書いていないのと同じ。自由社は書かれていない。

## 8 多様性（漢字のルビ、語句）

- ・帝国書院、他社の5倍と圧倒的に多い。
- ・日文は他者の2倍くらい。
- ・教育出版、東書、育鵬社・自由社は同じくらい。
- ・育鵬社・自由社は中学生には難しい語句や表現が多く使われている印象。

- ・自由社は資料に中学生があまり知らない人物写真が多様され、本文にも書かれていないため唐突な印象。

## 9 資料の文量

- ・育鵬社は余白多く、資料少ない。
- ・自由社は本文量多い印象だが、資料少ない。余白目立つ。

## 10 著作者、監修者の女性のかかわり

- ・日文が一番多く約 25%。教育出版、東書、育鵬社は 10%程度。帝国は一人
- ・自由社は一人もいない。

## 11 特別支援教育の監修者

- ・どの会社も一人か二人。自由社は一人も記載なし。

## 12 LGBTQ

- ・帝国、教育出版、日文、東書は記述あり。
- ・育鵬社、自由社は項目なく扱っていない。

## 13 QR コード

- ・自由社以外はあり。
- ・育鵬社は NHK と行政 HP に繋がるのみ。
- ・帝国、教育出版、日文、東書はかなり充実した内容。
- ・日文、東書は小單元ごとに QR コードあり。

## 14 今日的な課題（平和教育）

- ・育鵬社は世界の情勢、日本を取り巻く状況に対して危機管理や脅威をあおる表現が多い印象。
- ・自由社は軍事力や核の抑止力で平和を維持するという考え方が出ている印象。

## 15 公民という言葉の捉え方

- ・各社書いているが育鵬社は個人よりも国家、社会全体を重要視している印象。

## ※社会科まとめて

### 《質疑応答》

○委員 ●調査委員

○地図と地理が同じ会社がよいなどあるか。

●別々であることに問題はないが同じであれば関連性をもたせているとは感じる。

○地図帳は毎時間使うか。

●使う。

○教科書も資料集的な要素が出ており、地図帳も資料集的な要素あり、デジタルなどもある。情報のかぶりなどないか。資料集は別にあるのか。

- 資料集は必ず買っているわけではない。担当教諭次第。デジタル情報も現行よりも増えており今後は資料集はいらないのではと感じている。
- （歴史）教科書の文章を読む（音読）ということはあるのか。
- 音読はないがそこを読んで読みとるということはある。
- 分野ごとに会社が違っていても問題ないか。
- 今まで不都合を感じたことはない。
- 会社が違った場合、まとめ方、設問の仕方等が違うことで生徒に負担はないか。
- 3分野、違う教科だと考えている。地理は資料活用できることがメイン。歴史は本文を使って読み取りをしていくことがメイン。そもそも違うためまとめ等が違っていても違和感はないと考える。
- だが連動性のある教科では。違う会社が入ると矛盾が生じることはないか。関連性などで。
- 連動性のある教科では各社とも学習指導要領で問われている部分としている印象で、互いにクリアしていると考え。
- （地理）教出に災害フィールドワークあるが限られた時間のなか、しないのに説明は必要となる場合など掲載の加減はどうか。
- 教科の中ではなかなか難しいが、総合で扱っていると考えている。授業では小単元を扱っており、特設ページはこちらが取捨選択する形。小単元を丁寧に扱っている教材が良いと考える。

#### 《協 議》

##### （地図）

- ・帝国書院が詳しい。
- ・東書は人口の増減率が信ぴょう性に乏しい。三朝町の人口増加している。
- ・帝国書院はグラフ・写真など地図以外の情報量が整理されている。

##### （地理・歴史・公民）

- ・帝国書院はすべて関連が出ているが、本当に他社でも関連付けられるのか。
- ・先生にとって不都合ないという回答だったが、生徒にとってはどうなのか。同じ方が良いのでは。
- ・並行して3分野をするわけではない。1年生は地理・歴史を交互に行っている。公民は3年生。
- ・ページ数が掲載されているわけではないため、他社でも関連付けはできそうだが。
- ・地理と地図は同社がよいのでは。
- ・毎時間の学習の流れという視点からは、最後のまとめに違いがある。地理が同じ流れなら、歴史・公民も同じ流れで揃っていた方がよいのでは。
- ・“社会科の学習”の流れとして同じである方がよい。学びやすい。
- ・帝国書院は学習のふりかえりのところも、ただのワークシートではなく、かなり重視している印象。
- ・帝国書院は歴史・公民の着地点、生徒にとって分かりやすい流れになっていると感じた。
- ・自分で読みながら進めるのにルビの多さは大切。
- ・帝国書院は次の時代がどうなるのか予想しようという導入があり、見通しをたてて自分で考えて進められる。
- ・社会は出版社を揃える。

#### 《結 果》

地図 帝国書院

地理的分野 帝国書院  
歴史的分野 帝国書院  
公民的分野 帝国書院

## 【数 学】

### 《調査報告》

(共通点)

- ・各社とも一人一台端末、これからの深い学びに対応している。
- ・「説明しよう」「Q」等という見出しで問があり、生徒が自ら主体的に学習を進めることができる。
- ・章末問題で例題、練習問題とも各社充実しており、基本を定着させる丁寧な構成となっている。
- ・防災教育やSDGs、キャリア教育など数学と日常生活との関わりが取り入れられていた。
- ・登場人物も国籍、性別など多様性に配慮したものになっている。

(全体)

- ・二次方程式の解き方の順番について平方根の利用→解の公式→因数分解の順が指導しやすく、この順番になっているのは啓林館、東京書籍だった。

#### 1 東京書籍

- ・問題場面の動画、演習問題の解答確認、シミュレーション、ワークシートなどQRコンテンツが多く取り入れられており、授業での活用や自主学習がしやすくなっている。

#### 2 大日本図書

(令和7年度の検定申請を行わないため調査書の発表なし。報告書は別紙のとおり)

#### 3 学校図書

- ・「Q」での話し合いを通して、目標を設定したり、解決への見通しを立てたりすることで、主体的・対話的に学習が進められるようになっている。

#### 4 教育出版

- ・実社会や日常生活、先端テクノロジーなど、数学に関わる話題を取り上げている。「数学しごと人」では、社会で活躍している方へのインタビュー内容を掲載している。
- ・実社会で数学が役立っていることや数学を学ぶ意義が実感できるようになっている。

#### 5 啓林館

- ・多様な学びに対応するために、巻末の「数学広場」に「学びをふりかえろう」「力をつけよう」「学びをいかそう」が用意されている。生徒の習熟度や興味関心に応じて学ぶことができるようになっている。他社と比較し問題量も充実している。
- ・教科書紙面に載せるべき内容と教科書紙面でなくQRコンテンツで扱う内容とが精選されている。
- ・教科書のページ数が削減され軽くなったことで、生徒の持ち歩きの負担が軽減される。各社の中でもっとも教科書が軽い。

## 6 数研出版

- ・基本的な知識・技能が無理なく習得できるように、「例」や「問」を細かく設定している。特に反復が必要だと考えられる項目の後に繰り返し練習するための「練習問題」を設けてある。

## 7 日本文教出版

- ・各章に1か所以上「学びに向かう力を育てよう」として主体的に学習に取り組む態度を評価できるような課題を設けている。生徒キャラクターの吹き出しで、「主体的に学習に取り組む態度」を示唆している。また、巻末には学びの過程や変容を見取るための「ふり返しシート」が用意されている。

### 《質疑応答》

○委員 ●調査委員

- 積み上げの教科。小学校との関連付けが充実している部分があるのはどこか。
- 小学校も啓林館を使用しており、同じ啓林館であるため扱いやすいと感じている。
- 数学の動機づけがあるのはどこか。
- 素数ゼミを扱っている教科書があるなど各社とも工夫がされている。
- 生徒が練習量を確保できる問題量等の充実度は。
- 問題量は啓林館が一番充実している。
- ページ数の差はどういうところに出てくるのか。
- 啓林館であれば回答・解説などをQRコードに載せていることで問題量を多く掲載し、ページ数を抑えている。
- SDGs、特別支援等からの視点は。
- 教科書の見やすさは啓林館。日常生活への繋がりへの指導も大切になると感じる。
- 全国学力調査に関係するような問題は。
- 教科書として扱っている会社もある。

### 《協 議》

- ・継続性、見やすさで啓林館。
- ・啓林館の解説がデジタルに持って行ってあることは現場としてはどうなのか。
- ・あり。習熟度によってQRコードを活用、家庭でも活用が可能。啓林館はうまく作ったと感じる。
- ・日文、教育出版は本気で勉強する生徒が使うという印象。
- ・教育出版は日常に数学が活かされているということがよくわかり面白い。
- ・啓林館にそれはない。デジタルコンテンツでフォローされているのかはわからない。
- ・啓林館の紙の薄さは魅力的。

### 《結 果》

啓林館

## 【理科】

### 《調査報告》

#### 1 東京書籍

- ・各単元の学習前と学習後に同じ問いかけをする「Before&After」を設定し、学ぶ意味や有用性、自身の成長を実感しやすい。
- ・学年の発達段階に応じて本文の側注幅の大きさをかえ、資料が読みとりやすくなっている。
- ・防災教育やキャリア教育に関連する内容には読み物資料があり、教科と結びつけて学習できる。

#### 2 大日本図書

(令和7年度の検定申請を行わないため調査書の発表なし。報告書は別紙のとおり)

#### 3 学校図書

- ・「理路整然」というページがあり、思考力、判断力、表現力を育成するための工夫が施してある。
- ・頁右上に、「この時間の課題」が示されており、学習課題が明確に示してある。
- ・教科書のページ内容が、ウェブページ化してあり、ブラウザ自体の機能で、「音声読み上げ」「色調反転」などのUD機能が施してある。

#### 4 教育出版

- ・「学習前の私」「学習後の私」で、生徒自身の科学的な概念の変容を認識させ、「活用しよう」で様々な知識をつなげ、科学的な概念を深められるよう配慮されている。
- ・単元扉の「学んでいくこと」や「これまでの学習」、既習事項「思い出そう」など、生徒が系統的に学習を進められるよう配慮されている。
- ・教員専用サイト「まなびリンク+」コンテンツ（ワークシート、小テスト、動画等）を活用できる。

#### 5 啓林館

- ・探究的な学習過程を重視し、課題の「把握、追求、解決」という流れが統一され、生徒は見通しを持ち、主体的に学ぶことができる。
- ・他教科との関連性が示されている。
- ・観察実験が3段階に設定されており、柔軟な対応が可能となっている。
- ・CBT形式の問題などの充実したICT活用事例がある。
- ・QRコンテンツが計587個あり、導入・実験・探求・理解を深めるなど様々な場面で活用できる。
- ・単元末や巻末には、最新の話題やSTEAM教育等、科学技術への興味関心を高める工夫をしている。

### 《質疑応答》

○委員 ●調査委員

○各社QRコンテンツの多さは。

●啓林館が一番多い。助言がふんだんに盛り込んであり、教師にも生徒にも良いと感じた。

○啓林館で他教科との横断的な対応とは。他社には。

●他教科では“こういう学び”、“こことリンクしている”、というものは他社には見受けられない。

○単元末に“探求”コーナーのある会社がある。あった方がよいものか。

- 個別最適化の学習をするうえで、例えば高校の学びと関連させるためには生徒によっては“探求”コーナーがあった方がよい。
- 単元の並びが各社同じではない。良し悪しあるか。
- 抽象的な概念がある単元は生徒にとって理解が難しいと感じる。例えば3年生の啓林館でいうと生命の連続性は自分の身近に考えることができ入りやすい。化学変化とイオンは抽象的な概念でありふれにくい。そういう意味で単元のスタートの配列は重要。啓林館だけが生物分野から入っている。
- 実験をする時にマニュアルとして教科書を使用するのか。
- ベースは教科書。
- わかりやすく実験のことが書いてある教科書はあるか。
- 図表の多さという意味では使い慣れた啓林館がよい。
- 理科の教師としては単元の配列、資料の多さ等何に重きをおくのか。
- 理科の大きな売りは実験・観察。観察し自然現象を知る、ということで教科書内にたくさんの図表が載っていることが必要。多くの図表の中から子どもたちが取捨選択する。

#### 《協 議》

- ・啓林館でよいのでは。
- ・QR コンテンツの多い啓林館。
- ・啓林館が一つぬけているのではないか。他社は少し物足りない。

#### 《結 果》

啓林館

### 【英 語】

#### 《調査報告》

(共通点)

- ・QR コードに掲載により生徒がタブレット等を使用して音声面での補充ができる。

#### 1 東京書籍

- ・授業のスタートの生徒同士が英語で話し合うスモールトークで活用できるページがある。
- ・協同して問題解決を行う活動やグループでのプレゼンテーションなどを教科書全体に多く用意され、対話的な学びが多くできる工夫がある。
- ・名詞、数えられる物、数えられない物に関して絵を加えてわかりやすく説明している。
- ・英語の歌の紹介で生徒の興味を引きつけるページの構成になっている。

#### 2 開隆堂

- ・2, 3年生にとって教科書の並びが慣れており使いやすい。
- ・Review&Retell を通して、学習内容の理解を深めることができる。
- ・単元末の Action では、題材に関連したテーマで行う自己表現活動を通して、学習内容の定着度を確かめることができる。



### 3 三省堂

- ・辞書に載っているページが表記されており、細かい意味の確認ができる。
- ・頻出単語ページに日本語の意味が入っている。
- ・全体的に資料的には情報が多いが、他社と比較し字がつまった感じがする。

### 4 教育出版

- ・すべてのレッスンの後に生徒自身の意見・考えを表現できるようになっている。
- ・4線があり教科書に直接書き込める工夫がされている。
- ・「車いすを使う少年」「盲導犬」などが登場し、題材内容・表現・登場人物・イラストなど、性別や身体的特徴、文化の多様性についての配慮が見られる。

### 5 光村図書

- ・夏休みの過ごし方を紹介するページでは選択肢があり、絵や写真から選びやすい。
- ・「友だちの新しい一面をみつけよう」は「英語で伝える」という新しい取り組みである。
- ・見た目的にアニメーションが多い。
- ・SDGsに関連した題材が多い。

### 6 啓林館

- ・「ビデオメッセージを作ろう」では英語の発信的なページになっている。
- ・日付変更線の内容等社会科との関連を通してプラスアルファの説明ができるページになっている。
- ・絵や色も多く生徒が興味を持って取り組める内容になっている。

#### 《質疑応答》

○委員 ●調査委員

- 小学校、中学校で会社が違うことについて課題はあるか。
- 1年生では既習単語と既習していない単語について会社が違うことでの困り感があったが、リストアップは行い対応した。フォローアップの負担はある。
- 今回また会社が異なった場合は再度リストアップする作業があるか。
- ある。大変な作業となる。
- 4観点（聞く・書く・読む・話す）でのバランスについて。
- どの会社も対応はしている。現場がどうがんばるか。
- 英語が苦手な生徒が多い気がしている。意欲的に生徒が取り組みやすい教科書はどこか。
- スタートはどこも同じような感じ。教科書の大きさは大きめの方がよい。
- 出てくる単語は同じ教科書会社であれば同じか。
- だいたい同じ感じ。
- 英語が苦手な生徒にとっつきやすい教科書はどれか。
- 話すだけから書くことを始めていかないといけない。そこを考えると開隆堂はグレー色になっているところをまずなぞる。また文字の大きさが違うため取り組みやすいと考える。
- 東書、三省堂は単語の発音についてカタカナ表記がある。ある方がよいか。
- ない方がよい。カタカナ表記があると読めている生徒もカタカナを読んでしまう。音から入りたい。
- 三省堂は長文で考えるページには日本語訳がある。こういったものはあった方がよいか。

- 授業の目的が内容の要約であれば、単語の意味調べの時間は短縮できる。活用の仕方次第。
- 長文への苦手意識がなくなるのであれば三省堂のような方式もありか。
- 生徒は書くことに苦手感があり、調べることを嫌がる。単語の種類含めて高校に繋がるよう、自分で調べるということをふまえている。生徒にとっては楽ではある。三省堂が採択された場合は教師がうまく活用するよう意識を変えていく必要がある。
- 全国学力調査の結果をみると、教員が視点を変えたほうがよいと感じる点もあるが、そのあたりはどうか。
- 話すことにはコミュニケーション含め力を入れないといけない中で、入試にかかわってくる「聞く・書く・読む」ことを重視するというバランスと計画性が必要と感じている。
- 東部・西部は東京書籍。中部は開隆堂。そこらへんはどう考えるか。
- 一度中部も東京書籍になったがまた開隆堂に戻った。開隆堂がよかったということだと考えている。

#### 《協 議》

- ・小学校の時に習った単語を先生が洗い直してリストアップしているということがもったいないと感じた。そういう部分では小学校で採択されている啓林館がよいのでは。
- ・小、中学校の単語はあまり意識しなくても、中学校からがんばろうとする苦手な生徒がとつきやすい教材がよい。
- ・開隆堂が見やすい。
- ・単語の洗い直しも1年だけ。
- ・生徒にとって慣れた教科書がよいのでは。
- ・あまりにも中学校英語が停滞していて何かを変えた方がよい気がする。
- ・昔なら中学校に入ってから英語でスタートラインが同じだったが現在はすでに差ができていて差を埋める所から入らないといけない。先生ががんばるといっているので開隆堂のままでよいのでは。
- ・アルファベットが書けない生徒がおり、小学校でちゃんと教えて、となることがある。
- ・開隆堂にしてもまた1から洗い直しが必要となってくる。生徒にとっても連続性があった方がよく、小学校と同じ会社がいいと考える。
- ・ただ啓林館は内容が楽しそうではない。
- ・東部、西部は東京書籍。東京書籍は充実している感じがある。小学校の頃から東京書籍を使っていることが大きいのでは。
- ・英語の先生ががんばられるなら東京書籍でがんばってほしい。
- ・東京書籍は小学校から使用していればよいが小学校からの連続性がないのであれば現状と同じ。
- ・今後は小、中学校の連続性を考え教科書を選ぶ必要がある。
- ・小、中学校の“既習”の捉え方の違いもある。
- ・教科書を変えて学力が伸びるかどうかが試す価値はあるが、現時点ですることかはわからない。

#### 《結 果》

開隆堂

#### 【音 楽（一般）】

## 【音 楽（器楽合奏）】

### 《調査報告》

#### 1 教育出版

- ・「学習 MAP」によりそれぞれの教材で何を目指していくのかが示され、見通しをもって学習できる工夫がある。
- ・「学習の進め方」「どんな特徴があるかな？」及び楽典事項が見開きでまとめられており、基礎的・基本的な内容の確認が随時できるよう工夫されている。
- ・教材同士を「比べてみよう」と投げかけることにより、既習事項と関連付けたり思考を広げたりすることでき、学びを深める手立てとなっている。
- ・歌唱、鑑賞教材では、生徒が進んで学び合うための活動例「Active!」が示されるとともに、楽曲が示されるとともに、楽曲のよさや魅力についてまとめたり、話し合ったりする場面が設定されている。
- ・「歌唱」「鑑賞」「創作」が色分けされており、巻頭の学習 MAP で学習の見通しと、育成を目指す資質・能力と教材、領域・分野の相互のつながりが示されている。
- ・小学校・中学校 9 年間を通した題材の系統が示され、発達段階に応じて学びが深まる工夫がある。
- ・共通事項を軸にした〈学習の進め方〉を振り返って学びの確認ができる。
- ・判読性・視認性の高い配色とレイアウトや UD フォントを使用している。
- ・SDGs と関連する教材を適宜配置し、どのような取り組みができるのか、考えるきっかけを設定している。
- ・見ること、聴くこと、書くことに分類された「まなびリンク」の活用により、主体的な学習への意欲が高まるとともに、ICT を活用した個別最適な学習への手立てがある。
- ・デジタル教材が用意され教科書の拡大、ペンやマーカーでの書き込みができるようになっている。
- ・音楽を愛好する心情を育むきっかけとして巻頭ページには多様な音楽的見方・考え方にふれられるような音楽家からのメッセージで始まっている。
- ・器楽の教科書では SDGs として人と社会を未来へつなぐよう楽器の背景にある風土や文化を考えるきっかけになっている。

#### 2 教育芸術社

- ・「学級目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」に加え、「楽曲の紹介文」と「考えたいポイント」が一目で分かるように示されており、三つの資質・能力の育成につながるよう構成されている。
- ・「学びのコンパス」ではワークシートの利用により、主体的・対話的で深い学びにつなげる手立てが示されている。
- ・1 年「音や音楽の果たす役割」2,3 年上「人と人とをつなぐ音楽」では、生活や文化との関わりを意識するしかけがある。また 2,3 年下「仕事と音楽」では SDGs の視点でも音や音楽の意味や価値づけにつながるページになっている。
- ・「歌唱」「創作」「鑑賞」が色分けされ、各ページにつながっている。また、どの教材で何を学習していくのか教材と学習内容の関連が色の濃度で示されている。
- ・「My Melody」「My Voice」「Let's Create」では発達段階に応じた系統性になっており、難易度を高めた配列になっている。
- ・器楽教科書でも歌唱や鑑賞の教材と同じページ構成で、学びに向かう力や幅広い価値観を養うことができるように工夫されている。

- ・UD フォントや識別しやすい色の組み合わせを選び、可読性、可視性を高めている。
- ・レイアウトや囲みの形を工夫することで視認性の高い紙面構成になっている。
- ・二次元コードには巻頭のメッセージ動画や歌唱教材のパート別音源とカラピアノ、また教科書と同じ体裁の創作ツールなど多くのデジタルコンテンツが用意されており、個別最適な学びや協同的な学びの実現に向けた手立てがある。
- ・音楽に関する知的財産権については漫画を交えて親しみやすく解説されている。
- ・オペラや歌舞伎等、個々の特徴を捉えたうえで複数の音楽を比較したり関連付けたりすることで、生涯にわたり音楽文化に親しむきっかけづくりになっている。
- ・巻頭ページでは、音楽や芸術また自身の関わりについてのメッセージがあり、学びに向かう力や音楽的な見方・考え方の育成のヒントになっている。

#### 《質疑応答》

○委員      ●調査委員

- 歌唱の歌は教科書会社によって違いがあるか。
- 共通教材は同じだが合唱曲は教科書会社によって変わる。
- 教育芸術社はほぼすべての曲にカラピアノがついている。あった方がやりやすいものか。
- カラピアノがついていると生徒の近くまでいって指導することがより多くなる。
- 音楽の先生からすると使いやすい教科書は何がポイントか。
- 小学校とのつながりもあるので同じ系統のものが使いやすい。
- どういうときに教科書を使うか。
- 共通教材やリズムゲームなど折に触れて使っている。最近はそのまま書き込みできる教科書も多いため、メロディを作るなどの創作は教科書を使用している。
- 生徒が書き込みやすい、触れたい部分がたくさん載っているのは。
- 教育出版は以前使用したがリズム活動をする際には教育芸術社が使いやすかった。
- なじみやすいポピュラーソングが多いのはどちらか。
- 教育芸術社だと「涙そうそう」「上を向いて歩こう」が全校で歌えるようなしかけがある。

#### 《協 議》

- ・教育芸術社はカラピアノがすべてについているので歌の練習をする際に便利。
- ・教育芸術社の扉のページがあるのが学習への姿勢が明確で分かりやすい。
- ・自分で表現を工夫してみるようなワークシート、中身は教育芸術社のほうが多めに取り入れてある。

#### 《結 果》

教育芸術社

## 【美術】

### 《調査報告》

(共通点)

- ・学習の目標について明示され、生徒作品も多め、生徒の感想なども載っている。

#### 1 開隆堂

- ・各題材の学習に必要な知識及び技能が、図鑑や「美術の用語」で提示されている。
- ・各題材に2次元コードが掲載され、インターネットを通じて、様々なコンテンツ(参考作品例、ワークシート、導入動画等)を活用できるよう工夫されている。

#### 2 光村図書

- ・「体感ミュージアム」として設定されている題材では、2次元コードにより書き込みツールや動画、360度写真等の資料が豊富に設定されている。
- ・発想や構想の手がかりとなるよう、多くの生徒作品を掲載するとともに、「作者の言葉」やアイデアスケッチ等も豊富に掲載されている。

#### 3 日本文教出版

- ・映像作品やトリックを使った作品等、デジタル機器を使用した作品制作の例がICTのマークを提示して複数取り上げられ、科学技術の活用や今後の可能性に触れることができるよう工夫されている。

### 《質疑応答》

○委員      ●調査委員

○開隆堂の顔の比率などは他にはないものか。

●今回開隆堂に詳しく載っている。

○授業の中でこういうものを学ばせたいという要素がちりばめられているのは。

●タブレットを活用するなど使いやすいのは日本文教出版。開隆堂、光村図書は見開きで大きなものもあるが、今はタブレットを活用して実物大やもっと大きく見せたりすることも可能。

○美術の授業でタブレットを使うことは主流となっているか。

●必須。作品の細部を見ることや鑑賞にもタブレットを使用している。

○分冊になっていることは。

●持ち運びに関することはメリット。

○美術鑑賞の内容的には特徴があるか。

●鑑賞分野はどの会社も充実してきている。日本文教出版は美術教育を専門的に受けていない生徒に関する作品のとりあげ方だとか、美術館と学校という中で関連がもたせやすい内容が載っている。

○光村図書は全国の生徒の作品を見てみよう、というものがあるが他の2社にはないか。

●これは光村図書の特徴といえる。

### 《協 議》

- ・資料も豊富で日本文教出版がよい。

《結果》

日本文教出版

## 【技術・家庭（技術分野）】

《調査報告》

（共通点）

各社とも課題解決の場面、調べる、考えるという項目があげられている。

### 1 東京書籍

- ・生徒の問題解決に導くために「問題の発見・課題の設定」「設計・計画」「制作・製作・育成」「評価・改善・修正」の流れを統一的に示している。
- ・生徒の発達段階にあわせて、問題解決に取り組めるよう身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載されている。
- ・デジタル教科書では、機能拡張として「Google 翻訳」を追加することで、多言語の生徒への対応ができるように配慮されている。
- ・質の高い動画や、シミュレーションなどを無料で利用できる QR コンテンツが用意されており、専門ではない内容でも安心して師範し、指導できるよう工夫されている。

### 2 教育図書

- ・設計・計画に必要な要素を多数掲載し、生徒自らの問題解決を実現できる。生徒自身の設計や計画を記入できる「設計・計画シート」「計画・育成シート」が切り取り式シートで用意されている。
- ・各内容の実習例では複数の題材を示しており、地域や学校事情等に適合した使い方ができる。
- ・車椅子が必要な生徒が作業をしやすくなる環境づくりについて取り上げ、多様な生徒が協力して学ぶことができるよう工夫されている。
- ・QRコードを実習題材や別冊「スキルアシスト」の各ページに付することで、動画など閲覧して学習を深め、理解をより確かなものにする工夫がされている。

### 3 開隆堂

- ・実習を行う際には、科学的な原理・法則などをふまえて計画・設計し、身体的な技能などを用いて具体的なものが創造できるようになっている。
- ・発展的な学習の内容はなく、基礎的・基本的な学習内容で構成されている。
- ・安全への配慮がよく記載してある。
- ・生徒が自分で作業しているように見えるアングルで撮影した写真が使用されるなど、理解を促すための工夫がなされている。

《質疑応答》

○委員 ●調査委員

○作業の仕方がチェックできるというのはどの教科書もあるのか。

●ある。

○実際の授業では終わる、終わらない個人差があるか。

●ある。

○プログラミングは各社違いが出ていたか。

●違いは出ていたが、具体的なものが書いてあったのは東京書籍のみ。

○発展的なもののあるなしについてはどうか。東京書籍にはあると言っていたが。

●技術の授業的には問題ないが、掲載がない場合、できてしまった子については次の課題がないと感じる。

○例えばどのようなページ。

●例えば東京書籍だと58～60ページは考えさせる部分があるなどして発展的な問題ができると感じる。

#### 《協 議》

- ・基礎基本がわかるのは教育図書。
- ・そこまで必要なのかは分からない。
- ・基礎基本は必要ではないか。
- ・昔のように教えていては作品作りが間に合わず、絞っていかなくてはいけない。
- ・発展的な部分が掲載されているのは東京書籍。
- ・木工道具がある家も今は少ない。
- ・そうすると道具の基礎が載っている教科書より発展的な部分が載っている方がよいのでは。

#### 《結 果》

東京書籍

### 【技術・家庭（家庭分野）】

#### 《調査報告》

（共通点）

- ・3年間の見通し、小学校からの繋がりも分かりやすい。
- ・QRコンテンツが充実している。
- ・SDGsの視点からどの分野においても分かりやすくまとめられている。

#### 1 東京書籍

- ・「プロに聞く！」では栄養士、建築士、保育士など家庭分野の学習内容に関係の深い仕事についている人たちからのメッセージを紹介し、生徒の勤労観・職業観を育むことができるように工夫されている。

#### 2 教育図書

- ・章ごとに学習したことをもとに自分の課題を設定し、実践するためのページがあり、統一した記録レポートには、ふり返って改善が必要か考えるようになっている。

### 3 開隆堂

- ・防災対策について、発展的な資料が多く掲載され、「考えてみよう」で話し合うことができるように工夫されている。

#### 《質疑応答》

○委員      ●調査委員

- 小中の連携の観点からよいものは。
- 各社が小中だけでなく高校までの繋がりを考えていると感じる。
- 消費者教育の観点から特徴のあるものは。
- どの会社も扱っているが、教育図書が資料の中でしっかり扱っていると感じる。
- 時間数が減った中で生徒に教えやすいものはどれ。
- 東京書籍を使ってきていて生徒が学習する中で1, 2, 3年と順番に学習するのに適していると感じる。
- 目次の順に進んでいく中、東京書籍だけが「家族地域」が最後に来ている。最初とどちらがよいか。
- 「家族地域」は3年生で扱っているので最後にある東京書籍が合っている。1年生は衣食住の生活が小学校の流れからは入りやすい。
- 教科書が変わることで生徒が作るもの、活動が変わることはあり得るか。
- 大きくはない。
- 家族家庭というところで育児休暇、介護休暇だとかは出てくるか。
- 出てこない。
- 昔は写真や絵で示していたものがデジタル化して充実したものの会社の順番は。
- 現行の教科書としか比較していないが東京書籍はより充実して増えたことに驚いた。

#### 《協 議》

- ・東京書籍がデジタルコンテンツも充実している。ほぼ全ページ。
- ・中部地区の教育課程に沿った「家族地域」が最後というのも大切な部分と感じる。
- ・3年生でこども園の訪問などしている。

#### 《結 果》

東京書籍

#### 【保健体育】

#### 《調査報告》

(共通点)

- ・どの教科書も主体的に学ぶ仕掛けはきちんと書いてあった。

#### 1 東京書籍

- ・小見出しごとに「問い」と資料が設定されており、思考・判断・表現を行いやすいように示されている。
- ・章末には章末問題のQRコンテンツが用意され、繰り返し知識の習得が確認できるようにしてある。
- ・見開き2ページで1時間(本時)の「見つける」→「学習課題」→「課題の解決」の学習の流れが示



されている。

- ・各学年の学習内容が明確に示され配列してある。保健編、体育編の順で配列されている。
- ・読みやすいユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用し可読性を高めている。本文は明朝体のUDフォント、文中キーワードはゴシック体のUDフォントを使用している。中学校以降学習する常用漢字にはふりがながある。
- ・指導者用デジタルブック、学習者用デジタル教科書があり、教科書にあるスイッチからQRコンテンツ(約150点)にアクセスすることができる。
- ・学習者用デジタル教科書には、文字読み上げ機能や総ルビ変更や分かち書き変更機能がある。また、文字色、大きさ、背景色の変更も可能。
- ・口絵には、SDGs、テクノロジーの進化、情報の活用と保健体育との関連が示されている。
- ・キャリア教育の推進では、章扉や章末資料等に保健体育関連職業人の話をのせ、将来の社会的職業的自立に目が向くような仕掛けがある。
- ・自然災害の防止は、大雨災害が多発する夏前に学習する配列がなされている。

## 2 大日本図書

- ・見開きで、前ページには本文、後ページには資料となっていて、知識を活用しての話し合いや書き出しができるように仕組みられている。トピックスやミニ知識もあり、学習関連情報や話題が示されている。
- ・章末資料として、関連事項が示されていたり、「学びを活かそう」で学習の活用について考える仕掛けがある。
- ・見開き2ページで1時間(本時)の「学習のねらい」→「つかもう」→「話し合ってみよう・やってみよう・調べてみよう」→「活用して深めよう」の学習の流れが示されている。
- ・読みやすいユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用し可読性を高めている。UD新ゴシック体を使用している。
- ・指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書があり、教科書にあるスイッチからQRコンテンツにアクセスすることができる。
- ・学習者用デジタル教科書には、文字読み上げ機能や総ルビ変更や分かち書き変更機能がある。また、文字色、大きさ、背景色の変更も可能。
- ・多くの口絵には、生きがい、スポーツとの関わり方、健康を支える基本的な生活習慣、情報機器との関わりなど多岐にわたり、豊かなスポーツライフの実現に向けての情報が示されている。
- ・キャリア教育に対応した内容としては、アスリートや研究者などからのメッセージや活躍が紹介され、多様な立場の人々が社会で活躍していることが理解できるよう工夫されている。
- ・防災教育では犯罪・災害など、備えや身を守る方法、被害を最小限に抑えるための行動などを身につけ日常生活に活かせるよう工夫してある。

## 3 大修館書店

- ・見出しは「〇〇は〇〇である」の形式で、本文理解がしやすいように示されている。
- ・章末に、まとめとして知識・技能の確認問題や、学び活用の問いがある。また、取り組みの振り返りをするようにしてある。
- ・見開き2ページで1時間で本時の「課題をつかむ」→「身につける・考える」→「まとめる・ふり返

る」の学習の流れが示されている。

- ・読みやすいユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用し可読性を高めている。
- ・指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書があり、教科書にあるスイッチからQRコンテンツにアクセスすることができる。
- ・指導者用デジタル教材には板書で活用のできるパワーポイントスライドがある。
- ・口絵には、国際的なスポーツ大会、自身の成長とスポーツ、共生社会の実現、目指す社会の在り方について紹介してある。
- ・キャリア教育については、学習内容と関連する職業や機関とそこで働く人について紹介している。
- ・防災安全教育に関しては、災害から命を守るための行動の仕方や災害時の情報の活用、地域の防災訓練、犯罪被害の防止のための取り組みなど工夫されている。

#### 4 Gakken

- ・小見出しごとに「問い」と資料が設定されており、思考・判断・表現を行いやすく示されて、学習課題解決に近づく工夫がされている。
- ・章末には、探求的な資料が提示され、学習の発展的内容が提示されている。また、「章のまとめ」として知識・技能の確認ができる問題がある。さらに、「生活への活用」の問いがあり、日常生活と関連付けが仕掛けてある。
- ・見開き2ページで1時間(本時)の「ウォームアップ(課題の発見)」→「学習解決へ(学習の課題)(エクササイズ)」→「学びを生かす(学びの活用)」の学習の流れが示されている。
- ・読みやすいユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用し可読性を高めている。UDデジタル教科書体を使用している。
- ・指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書があり、教科書にあるスイッチからQRコンテンツにアクセスすることができる。
- ・学習者用デジタル教科書には、文字読み上げ機能や書体、大きさ、背景色等の変更機能などの学習者支援機能が付いている。
- ・口絵には、スポーツの力について様々な可能性について、運動・食事・休養睡眠からの健康課題、安全・防災、環境など、保健体育との関連が示されている。
- ・キャリア教育については口絵や章扉に、健康、環境、安全・防災、運動・スポーツに関わる職業人の話をのせ、将来の社会的職業的自立に目が向くようなしかけがある。
- ・防災教育では、実践的な学習ができるよう予測困難、予測可能に分けた構成になっている。

#### 《質疑応答》

○委員 ●調査委員

- 学習内容の配列について。現在の学校の教育課程とマッチしているのはどの会社か。
- 体育理論が先にある方がスマートと考えるが教員の工夫次第であり順番はそんなに関係ない。
- 熱中症の予防や感染症対策が充実しているのは。
- それらはないが例えばAEDの使い方が動画で入っている、絵が入っているなど色々な角度から見られるのは東京書籍、学研。
- 性の多様性については。
- 各社あまり区別はないが学研であれば“男性・女性”と記載せず“相手”と書いてある。
- 生徒が性への悩みやストレスからどのように立ち直るか。そういった内容に近づける教科書はどれか。

- 1年生で二次性徴が出てくる。3年生は感染症にあわせて性感染症のことが出てくる。性も含め自分を大切にしましょう、相手を大切にしましょうという話は出てくる。
- 今日的な問題として知識としておさえておき、生徒がそういった話をするのによい教科書はどれか。
- 教員の仕掛け具合の方が大きいと感じる。資料が多ければ生徒が自ら調べる、気づくのに活用できるのではと考える。写真など多く詳しいのは大修館だが、たくさんあるとたくさん教えないといけない。取捨選択の時には時間に余裕のある教科書の方が調べ学習を仕掛けやすい。目次に余裕がある方がうれしいという気持ちはある。

#### 《協 議》

- ・4つの教科書の文字の量を比較したら東京書籍が一番少ない。そうすると余白時間に生徒自身が考えることができると感じた。
- ・東京書籍は学習課題も明確でQRコード、ルビがしっかり記載されている。
- ・大修館は内容的には充実しているが文字が多い。

#### 《結 果》

東京書籍

### 【道 徳】

#### 《調査報告》

##### 1 東京書籍

- ・多様な考えを引き出せる発問が中心発問になっている。
- ・意見の交流を通して価値観にせまる教材が設定されている。
- ・各教材の「見つめよう」で自己を振り返り、「考えようをぐっと深める」で自己のこれからについて考えるようになっている。

##### 2 教育出版

- ・学期毎に「道徳科の学びをふり返ろう」が設けられている。
- ・「1年間の学びをもとに考えよう」で、「幸せ」や「よりよい生き方」について考えることができる。

##### 3 光村図書

- ・二つの問いで構成し、発問の意図を明確にしている。①道徳的な問題を明らかにする問い（課題の設定）②道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い（中心となる発問）
- ・「つなげよう」という問いが設定されて、学んだことをこれからの人生でどう活かすかを考えやすくなっている。

##### 4 日本文教出版

- ・「道具箱」として、フリーワークシート、心情メーター、シンキングツールが用意されている。
- ・役割演技などを求める体験的な学習が用意されている。

## 5 Gakken

- ・巻末に、学習ごとを振り返る「学びのメモ」、学期ごとの学習を振り返る「学びの記録」、年間の学習を振り返る「未来への扉」が設定されている。
- ・「クローズアップ」で関連する情報と、自分の体験を振り返る問いや、実話をもとに考える時間が用意されている。

## 6 あかつき教育図書

- ・教材を読み、活動を通して、いろいろな視点から考えを深める「マイプラス」が収録されている。
- ・「考えを深める」という見出しで、他者との意見共有ができる問いが常に用意されている。
- ・各教材に「自分との対話」の問いが設定されている。

## 7 日本教科書

- ・「ウェルビーイングカード」が用意されており、友だちと共有することができる。
- ・様々な見方で考える問も設定されている。

### 《質疑応答》

○委員      ●調査委員

- あかつきはあまり聞かない会社だが、こういう見せ方とそうじゃないものと生徒に教える場合にどちらがよいか。
- 目次でくくってあるよりは、バラバラで配列してあってページを開いたときに様々な価値観が書いてある方がよい。
- デジタルコンテンツを開いたら教科書の本文を音読するものとそれが入っていないものとあるが、音読をしないのはどれだったか。
- 学研、あかつき、日本教科書だったかと思う。速度調節機能は東京書籍だけ。
- 現行の教科書と比較して改定教科書の大きな違いはどこか。
- 現行の教科書は多面的に考えたり深めたりすることがよくできていると思う。それぞれあると思うが設問の出し方、捉え方は深いなと感じる。

### 《協 議》

- ・資料のあとにある発問・提案も教材文に関するものが一つ、価値観に関するものが一つ。一つずつ、というのが余白もあり東京書籍がいい。
- ・東京書籍の多様な発言が出てくる仕掛けというものがよい。必ずしも答えを一つにしなくても良いという捉え方ができる。それが社会だということが分かる。

### 《結 果》

東京書籍

## 【特別支援学級の教科書について】

### 《調査報告》

#### 1 文部科学省著作の☆本（国語、数学、音楽）

- ・国語は、それぞれが実生活に役立つ内容で、カラーの挿し絵と大きな文字で、絵本のような構成になっており使いやすい。
- ・国語☆☆☆☆☆は、「職場体験学習の感想文を書こう」や「お礼の手紙を書こう」、「修学旅行の思い出」など学校行事や実生活に関連した内容が多くあった。
- ・数学☆☆☆☆☆は、単位、計算、図形、時間などが実生活で活用できるような課題で構成されている。
- ・数学☆☆☆☆☆は、割り算、小数、分数の計算や、グラフを利用した整理の仕方などが加わり、レベルアップ用として活用することができる内容である。
- ・音楽☆☆☆☆☆、音楽☆☆☆☆☆は特別支援学校中学部を対象にした教科用図書である。
- ・各ページには挿し絵が豊富で、楽譜ページは教科書後半に別ページでの掲載となっている。

#### 2 一般図書

- ・自立する上で必要な、生活の場で生かせる題材が選ばれている。
- ・国語は、物語や説明文などの読み物教材は扱われていないので、必要に応じて読解の題材を入れていく必要がある。
- ・算数は小数や分数などは入っていないので、必要に応じて計算問題を入れていく必要がある。
- ・くらしに役立つ数学はＩＣカードやスマートフォン等の利用のことについて触れられている。
- ・二次元コードから気温、求人票などの動画や資料をダウンロードできる。
- ・わからないをわかるにかえるシリーズは、要点や説明がわかりやすい。
- ・見開きの左ページのヒントを参考にしながら右ページの問題を解く構成となっており、取り組みやすい内容である。
- ・職業・家庭は中学校の自立活動でも活用できる内容が含まれている。

### 《結 果》

承認

（司会）選定結果の確認

#### 4 今後の予定

本協議会の選定結果をもとに、各市町教育員会にて検討していただき、その結果の報告を事務局までお願いしたい。各地教委からの報告が集まりしだい、事務局からその結果を連絡させていただく。各地教委は、その結果連絡を受け、8月30日までに県へ採択の報告をすることになる。

#### 5 閉会（事務局）

長時間にわたり、慎重なご協議をいただき、感謝申し上げます。